

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成30年9月20日

松本地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	14	課題区分	B		
実施機関	松本地域振興局			担当課	林務課
事業名	松くい虫被害木利活用推進事業			所属	電話 0263-40-1928
				電話	0263-40-1928
				E-mail	matsuchi-rimmu@pref.nagano.lg.jp
事業概要	目的 (目指す姿)	松くい虫被害木を有効活用するための体制構築			
	現状と課題	松本地域は、松くい虫によるアカマツの枯損等の被害が県下で最も深刻な状況であり、被害蔓延を防ぐために被害木の早期処理が求められている。また、当地域では平成32年から木質バイオマス発電施設の稼働が予定されており、これにより被害木を資源として活用することが可能となる。 松くい虫の被害蔓延を防ぎ、被害木を有効活用するために、同施設において迅速かつ円滑に処理ができる体制を構築する必要がある。			
	内容 (変更後の内容)	松くい虫被害木を有効活用するための体制等について、検討会を開催 【検討事項】 ・中間土場の施設規模及び内容 ・中間土場の設置場所 等			
	事業期間	平成30年5月		～	平成30年12月
	成果目標 (成果指標)	松くい虫被害木を有効活用するための体制構築に係る方針の決定			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考	
	検討会の開催	委員報償及び旅費	251,088		
	合 計		251,088		
事業実績・成果	事業実績	事業の成果	評価		
	松くい虫被害木を有効活用するための体制等について、以下のとおり検討を行った。 第1回 ・木曾町「木質燃料供給基地」「チップホイラー」の視察 ・現状の確認と検討事項の確認 第2回 ・中間土場候補地の現地検討(5ヶ所) ・情報提供 第3回 ・中間土場候補地の絞込み ・補助事業の検討 第4回 ・検討会の総括と今後に向けた検討	検討会において、以下のとおり方針等を決定した。 ・事業主体を長野県森林組合連合会とする ・中間土場の設置個所として3箇所を選定 ・引き続き、中間土場設置個所の選定を進める ・機械装備は、最小限(木質バイオマス燃料需要量を供給できる規模)とし、事業主体の経費負担を軽減する	<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下		
今後の方向性	検討会で決定した方針に基づき、引き続き、以下の事項について検討を進める ・CD材(木質バイオマス燃料用原材料)の搬出促進を図るための施策 ・B材(合板用)の供給増加に伴う価格安定・利用拡大				